

夏の交通安全市民運動

7月11日（金）～20日（日）

名古屋市

交通安全・生活安全
ニュース 2025夏号

スローガン

マナーアップなごや なくそう交通事故
～広めよう 交通安全スリーS（^{ストップ}Stop ^{スロー}Slow ^{スマート}Smart）運動～

重点事項

歩行者の交通事故防止と 交通ルールの遵守

- ① 信号を守る・横断歩道を利用する・歩行者横断禁止の標識のあるところでは横断しない・横断中も周りの安全を確認
- ② 通学路や子どもが日常的に集団で移動する経路などで見守り活動を推進

ドライバーの安全運転意識 の向上と飲酒運転等の根絶

- ① 子どもや高齢者を見かけたら速度を落とす・道をゆずる「思いやり・ゆずり合い運転」を実践
横断歩道では「歩行者優先」
- ② 「飲酒運転四ない運動」
（自動車・自転車の飲酒運転根絶）
- ③ 運転中の「ながらスマホ」や「あおり運転」は絶対しない

自転車・特定小型原動機付 自転車利用時のヘルメット 着用と交通ルールの遵守

- ① ヘルメットを着用し、交通ルールを守る
- ② 自転車安全利用五則を守る
- ③ 自転車損害賠償保険等に参加



飲酒運転四ない運動

1. 運転するなら飲まない
2. 飲んだら運転しない
3. 運転する人にすすめない
4. 飲んだ人に運転させない

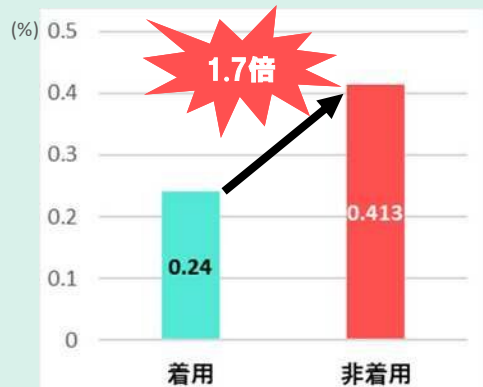


自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側を通行・歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用

Q ヘルメット着用による致死率のちがいは？

ヘルメット着用時と非着用時の致死率の比較



愛知県内自転車死者の負傷主部位構成率
（令和2年～令和6年）



頭部が
約6割

夏の生活安全市民運動

8月1日（金）～10日（日）

名古屋市

交通安全・生活安全
ニュース 2025夏号

スローガン

みんなで創ろう、安心・安全 なごや
「犯罪にあわない」「犯罪を起こさせない」「犯罪を見逃さない」3N^{ない}

重点事項

子ども、女性の安全を守る活動の推進

<子どもの安全>

- ① 子どもを犯罪から守る5つのおやくそく「つ・み・き・お・に」を習慣づける
- ② SNS利用について親子で話し合い、「個人が特定される情報を書き込まない」などルールを決める

<女性の安全>

- ① 中高層階やオートロックでも、ベランダ窓や玄関のカギを確実にかける
- ② スマートフォンを使用しながらの「ながら歩き」はやめて、時々後ろを振り返り周囲を警戒する

住宅対象侵入盗の被害防止

- ① 短時間の外出や在宅時でもカギかけを徹底
- ② SNSへの投稿内容から留守を悟られ、空き巣被害にあり可能性があるため、リアルタイムの投稿はしない



「闇バイト」の加担防止

- ① SNSなどで「短時間」「高収入」と言い、犯罪の実行役（いわゆる「闇バイト」）を募集するものには安易に応募しない
怪しいと思ったら家族などに相談する



Q 住宅対象侵入盗の被害に遭うとどうなるの？

住宅対象侵入盗の被害に遭うと、現金などを盗まれるだけでなく、窓やドアを破壊されたり、家の中をメチャクチャに荒らされることもあります。

1件あたりの被害総額
約772万円